

盛岡市教育振興基本計画（案）の概要

計画の構成

第1章 基本的事項

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の期間
- 3 計画の位置付け
- 4 計画の進行管理
- 5 教育大綱について

第2章 教育を取り巻く状況の変化

第3章 前計画の主な取組状況と課題

第4章 基本理念と施策

- 1 基本理念
- 2 基本理念の実現に向けた3つの施策
- 3 施策の体系図
- 4 施策の内容

資料編

- 1 用語の解説
- 2 盛岡市教育振興基本計画懇話会委員名簿
- 3 策定の経過

第1章 基本的事項

1 計画策定の趣旨

平成27年4月に策定した「盛岡市教育振興基本計画」及び平成27年5月に策定した「盛岡市教育大綱」のもと、教育施策を推進してきた。

一方、教育を取り巻く状況は、平成27年の計画策定時から大きく変化している。国の動向としては、学習指導要領の改訂及び国の第4期教育振興基本計画の策定、社会環境の変化としては、人口減少と少子高齢化の進行及びデジタル化の進展などが生じており、様々な変化への対応が求められている。

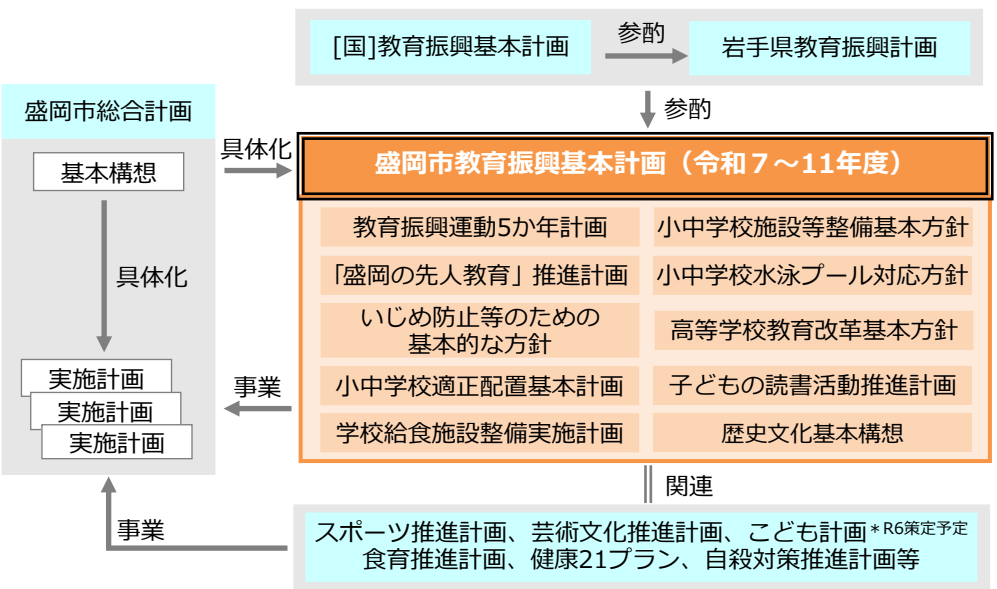
このような状況に的確に対応していくため、令和7年度を始期とする新たな「盛岡市教育振興基本計画」を策定し、本市の教育行政の推進に取り組むもの。

2 計画の期間

国の教育振興基本計画及び岩手県教育振興計画の計画期間や、社会情勢の変化に対応することを考慮し、令和7年度から令和11年度までの5年間とする。

3 計画の位置付け

- (1) 教育基本法第17条第2項の規定に基づき、国の教育振興基本計画(R5年策定)を参酌し策定。また、岩手県教育振興計画(R6年策定)を参酌し策定。
- (2) 上位計画である盛岡市総合計画の基本構想の教育分野を具体化する計画とする。また、本計画に係る個別計画等に基づく事業を盛岡市総合計画の実施計画に示す。
- (3) 盛岡市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例に基づく、市長が管理及び執行する事務を除いた教育委員会が管理及び執行する事務を本計画の対象とするが、他部局と連携し取り組む事業等については、本計画にも位置付ける。



4 計画の進行管理

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づく「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を実施し、結果を公表する。また、結果を踏まえ、施策の見直し等を行いながら、本計画の着実な推進を図る。

5 教育大綱について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地方公共団体の長が定める教育等に関する大綱については、文部科学省通知において、教育振興基本計画をもって代えると判断した場合は別途策定の必要はないとしており、本計画は、本市の教育における目標や施策の根本となる方針が大綱と一致することから、本計画をもって本市の教育等に関する大綱とする。

第2章 教育を取り巻く状況の変化

- (1) 国における第4期教育振興基本計画の策定
- (2) 学習指導要領の改訂
- (3) 人口減少と少子高齢社会の進行
- (4) デジタル化の進展
- (5) 「VUCA(ブーカ)」の時代

第3章 前計画の主な取組状況と課題 ※主に課題について一部抜粋 (括弧内は主な取組状況)

「施策1 子どもの教育の充実」における主な取組状況と課題

- 基礎・基本の確実な定着
 - ・各種調査結果での正答率や肯定意見の割合が低くなっている項目への対応
- 情報教育の充実
 - ・ICT機器の効果的な活用方法の研究（一人一台端末配備済）
- 生徒指導の充実
 - ・増加傾向にあり、原因もそれぞれ異なる不登校児童生徒への支援
 - ・いじめの対応の複雑化による担当する教員の負担増加
- 学校施設の整備・充実
 - ・老朽化が進む学校施設の早期改修（学校施設の耐震化）

「施策2 生涯学習の推進」における主な取組状況と課題

- 社会教育の充実
 - ・多様な学習ニーズに応じた講座の開催に向けた幅広い分野の学習指導者の必要性、中高生の不読率の改善
- 社会教育施設の整備・充実
 - ・社会教育施設の計画的な整備の実施（市立図書館の大規模改修工事等完了）

「施策3 歴史・文化の継承」における主な取組状況と課題

- 文化財の保護と活用
 - ・有形文化財の周辺環境も含めた適切な保存管理を行うための取組の検討
 - ・後継者不足にある無形民俗文化財を保存する団体への対応
 - ・発掘された埋蔵文化財資料の市民への情報の還元
- 博物館等施設の整備・充実
 - ・博物館等施設の計画的な整備の実施（石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館の複合施設の整備実施）

「施策4 芸術文化の振興」における主な取組状況と課題

- 芸術・文化活動の充実
 - ・芸術文化活動の鑑賞機会や活動団体等との交流の機会の充実
- 文化施設の整備と活用
 - ・文化会館施設の設備の更新

「施策5 スポーツの推進」における主な取組状況と課題

- ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進
 - ・市民のスポーツに取り組む意識の定着につなげる取組の実施

- スポーツ施設の整備充実
 - ・スポーツ施設の長寿命化工事の着実実施(市立武道館、総合プール及び盛岡南公園球技場の長寿命化工事完了、いわて盛岡ボールパークの供用開始)

※前計画で位置付けていた「施策4 芸術文化の振興」及び「施策5 スポーツの推進」については、本計画の対象としないが、教育委員会と連携し取り組む事業等については、本計画にも位置付けている。

第4章 基本理念と施策

1 基本理念

多くの先人を育んできた美しいふるさと盛岡を愛し、
豊かな心とすこやかな体を持ち、
自ら学び、共に生きる未来を創る人を育てます

多くの先人を育んできたふるさと「盛岡」を大切にしたい気持ち、豊かで健やかな心と体の育成、人と人との絆を大切に、互いに支えあいながら、輝く盛岡の未来や自らの未来を創造する主体性や生きる力を身に付けることは、本市の教育における普遍的な使命と考え、本計画の基本理念とする。この理念は、前計画で掲げた「目指す市民像」を継承するもの。

2 基本理念の実現に向けた3つの施策

基本理念の実現に向け、前計画から引き続き取り組むべき課題や教育を取り巻く状況の変化などを踏まえ、**施策1 子どもの教育の充実**、**施策2 生涯学習の推進**、**施策3 歴史・文化の継承**に取り組む。



図 基本理念と3つの施策の概念図（市の花「カキツバタ」）

● ● ● 3つの施策の目指す方向 ● ● ●

施策1

子どもの教育の充実

- 予測困難な社会の変化に主体的に関わり、未来を切り拓くための資質・能力を育成するために、教育DXの推進に向けた基盤整備を通じた個別最適な学びや協働的な学びの実現
- いじめや不登校などの諸課題に関し、専門家や関係機関等と連携した子どもたちが安心して学べる学校づくりや社会的自立に向けた支援
- 小中9年間の系統性を踏まえた盛岡の先人教育を展開し、原敬や新渡戸稲造、米内光政など本市にゆかりのある先人の生き方を学ぶことを通して、盛岡の子どもたちに「将来の夢」「ふるさと盛岡に対する愛着」「目標に向かって努力する心」の育成
- 地域総ぐるみで共に学び支え合う社会の実現を目指すとともに、自ら進んで考え、行動し、「社会の中で自立して生きていく力」を身に付けた子どもの育成
- 子どもたちの安全・安心の確保に向けた教育環境の向上や学校給食の充実

施策2

生涯学習の推進

- 学んだ成果を地域づくりに生かす事業の普及や社会教育関係団体の支援・育成などを通して、いつでもどこでも学ぶことができる環境を構築し、自ら学び続ける生涯学習社会の実現に向けた取組の推進
- 子どもたちの健全育成を図るため、学校、地域、家庭と連携しながら、家庭教育の充実を図るほか、社会参加活動を促進する事業を通じ、盛岡の将来を担うリーダーの育成

施策3

歴史・文化の継承

- 有形文化財については、現況の巡視、適切な保存管理と積極的な活用
- 無形民俗文化財等については、地域に伝わる伝承行事の記録・保存に取り組むほか、関係機関等と連携し、次代を担う子どもたちが、地域にある様々な文化を知るきっかけづくりの推進や、その保存と後継者の育成
- 史跡等については、盛岡城跡本丸地区の発掘調査等に取り組むとともに、志波城跡における復元施設の修復等を含めた適切な維持管理と活用

3 施策の体系図

基本理念の実現に向けた3つの施策のもと、小施策と取組項目を位置付け体系化

施策1 子どもの教育の充実

小 施 策	取 組 項 目
1 小中学校教育の充実	(1) 確かな学力の育成 ア 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 イ グローバル社会における人材育成
	(2) 豊かな心の育成 ア 道徳教育の推進 イ いじめ問題、不登校への対応
	(3) 健やかな体の育成 ア 学校体育・健康教育の充実 イ 安全教育の推進 ウ 食育・学校給食の充実
	(4) 先人教育・キャリア教育の推進
	(5) 共に学び、共に育つ特別支援教育の充実
	(6) 学校と家庭・地域との協働の推進 ア 教育振興運動とコミュニティ・スクールの推進 イ 部活動の地域展開等の環境づくり
	(7) 教育DXの基盤整備と教員の指導力向上
	(8) 学びを支える経済的支援と学校の適正配置
2 幼稚園・高等学校教育の充実	幼保小の円滑な接続と市立高校の魅力化
3 学校施設の整備・充実	(1) 校舎等の整備
	(2) 教育環境の向上
	(3) 学校施設の利活用

施策2 生涯学習の推進

小 施 策	取 組 項 目
1 地域における学びの充実	(1) 学習機会の充実 (2) 学校・家庭・地域の連携 (3) 家庭教育支援の充実
2 社会教育施設の整備・充実	(1) 社会教育施設の整備 (2) 社会教育施設の充実

施策3 歴史・文化の継承

小 施 策	取 組 項 目
1 文化財の保存と活用	(1) 有形・無形文化財の保存と活用 (2) 埋蔵文化財の保存と活用 (3) 史跡・名勝・天然記念物の保存、整備、活用
2 博物館等施設の整備・充実	博物館等施設の整備と管理運営の充実

4 施策の内容 ※取組方針について一部抜粋

施策1 子どもの教育の充実

小施策1 小中学校教育の充実

(1) 確かな学力の育成

ア 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- 児童生徒一人ひとりの学習状況や学習のつまずきに着目した児童生徒の学習改善や教員の指導改善、児童生徒一人ひとりの資質・能力の向上
- ICT活用等を取り入れた授業の在り方に係る教員の確かな理解の推進、デジタル教科書や1人1台端末の活用による児童生徒の情報活用能力の向上

イ グローバル社会における人材育成

- SICEプログラムの継続、学習者用デジタル教科書の活用

(2) 豊かな心の育成

ア 道徳教育の推進

- 他者の考えや意見を聴く機会の創出、教員と児童生徒が一緒に考え議論することで多様な意見を認め合うことの良さを感じ取らせる活動の展開

イ いじめ問題、不登校への対応

- 学校風土の「見える化」、スクールカウンセラー等の専門家の配置
- 「いじめ問題への取組チェックリスト」による点検・取組の見直し、教育委員会内に「対策チーム」を立ち上げ、チームとしての各学校への支援
- 小中学校へのひろばモリーオの教育相談員によるアウトリーチ型支援
- 関係部署等と連携したSOSに関する教育や知識の普及啓発
- 社会教育施設やフリースクール等の民間施設との連携等による不登校児童生徒の居場所づくりの推進、社会的自立に向けた支援
- リモート授業などオンラインによる支援の展開、市こども相談室との連携

(3) 健やかな体の育成

ア 学校体育・健康教育の充実

- 児童生徒が仲間との関わりを通じて、運動の楽しさを体感できるような授業づくり、体育の授業以外の運動する機会の確保
- 岩手県教育委員会が実施している「60プラスプロジェクト」の推進

イ 安全教育の推進

- 関係機関と連携した通学路の合同点検・協議、ボランティア活動等を通じた安全で安心な社会づくりに主体的に貢献しようとする態度の育成
- 地域の防災マップ作りや小中学校合同での避難訓練など、様々な災害を想定した防災意識を高める取組の推進

ウ 食育・学校給食の充実

- 体育科、家庭科等を相互に関連させた学校教育全体での食生活の指導
- 地場産品等を活用した食に関する指導、「全員に同じ給食が提供される方式」での完全給食の実施に向けた新たな学校給食センターの整備

(4) 先人教育・キャリア教育の推進

- 先人の生き方と対比しながら、自己の生き方に向き合う活動の実施
- 「盛岡市職場体験学習受入・キャリアアドバイザーリスト」の更新、企業や団体が作成した「リモート社会見学」等を通じ、社会の変化に対応した職場体験学習に必要な情報提供による各学校における体験活動の充実

(5) 共に学び、共に育つ特別支援教育の充実

- 特別支援教育チーム委員による学校への巡回相談や各研修による特別支援体制の機能充実や個別の教育支援計画を基にした関係機関との連携強化、岩手大学と連携した児童生徒の詳細なアセスメントと適切な支援、医療的ケアに係る看護師の確保
- スクールアシスタントの適切な配置、特別支援教育担当指導による公開講座や校内研究会での指導助言、特別支援教育チーム委員による巡回相談支援、特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育体制の充実

(6) 学校と家庭・地域との協働の推進

ア 教育振興運動とコミュニティ・スクールの推進

- 「教育振興運動第13次5か年計画」の策定、教育振興運動地区別集会等を通じた各小中学区のエデュケーション振興協議会の取組等の交流
- 学校と教育委員会の連携による市内や他自治体の実践等の情報共有、地域との共通理解による学校運営協議会の設置に向けた取組の推進

イ 部活動の地域展開等の環境づくり

- 各地域や種目に応じた地域展開や学校を中心とした地域連携など、様々なパターンを想定した慎重かつ丁寧な検討の推進
- 学校・スポーツ・文化芸術分野の関係者との情報共有、様々な立場からの意見を踏まえた協議、市交流推進部と連携した取組の推進

(7) 教育DXの基盤整備と教員の指導力向上

- 1人1台端末の更新、統合型校務支援システムの運用支援、クラウド環境の積極的活用、県と連携した人員配置、時間外在校等時間の短縮
- 文部科学省のGIGA StuDX推進チームをはじめとする専門性の高い講師による学校や教員個々のニーズに応じた研修会の開催、指導主事や専門研究員によるICTを活用した授業実践例等についての個別指導の実施
- 岩手県の教員等育成指標を組み込んだ研修プラットフォームを活用した教員自身の研修意識の転換、岩手大学と連携した実践研究の充実

(8) 学びを支える経済的支援と学校の適正配置

- 市ホームページや学校を通じたチラシの配布による就学援助制度の周知、国庫補助の動向等の把握による支給費目の拡充・支給単価の増額の検討
- 地域や学校ごとの説明会の開催及び協議会の設置、地域等の意見を尊重し協議を重ねながら、複式学級の解消や学区の見直しについての丁寧な推進

小施策2 幼稚園・高等学校教育の充実

幼保小の円滑な接続と市立高校の魅力化

- 「幼稚園・保育園・こども園と小学校の接続カリキュラム」の見直しと各校・園のカリキュラムの見直しの推進、教育委員会による研修事業及び指導主事等の園訪問や岩手県で実施する事業の活用等による教員の資質向上
- 令和6年度に実施した高等学校DX加速化推進事業を活用した商業科へのコースの新設及び科目設定の実施、ICTを活用した文理横断的・探究的な学びの向上、デジタル人材の育成強化

小施策3 学校施設の整備・充実

(1) 校舎等の整備

- 突発的な設備の破損等による学校運営への支障を最小限に収めるため、随時各種計画の見直しの検討、早急な老朽化対策・設備修繕
- 水泳授業の民間施設や市有プール施設の活用に向けた、民間施設事業者、市有プール施設の所管課及び指定管理者、学校等との事業実施に向けた具体の調整と着実な推進

(2) 教育環境の向上

- 小中学校の特別教室への空調設備の設置
- 小中学校のトイレの洋式化やバリアフリー化等の実施

(3) 学校施設の利活用

- 学校及び関係部署等と連携した児童センター、児童館及び放課後児童クラブ等の受入に係る引き続きの検討、地域コミュニティ施設との複合化など、幅広い観点での取組の実施
- 市交流推進部において、学校体育施設開放事業に係る利用申込や施設の空き状況確認のデジタル化についての検討

施策2 生涯学習の推進

小施策1 地域における学びの充実

(1) 学習機会の充実

- 社会情勢の変化を踏まえた学習ニーズの把握、SNS等を活用した積極的な情報発信、オンライン配信等のICTを活用した学びの機会の充実
- 学習指導者の確保に向けた岩手大学等との連携強化や企業等との協力検討、今後の学びを支える社会教育人材の育成
- 市民が広く社会教育関係団体の活動を体験できる機会の充実、各公民館の団体情報に係る市芸術文化ポータルサイト「ArtのMori」等での公開・周知

(2) 学校・家庭・地域の連携

- 子ども会活動の意義や実践的な運営方法を学ぶ研修会等の開催、保護者の負担軽減も踏まえた子ども会の在り方の検討、関係団体の会員増加に向けた子ども会や地域コミュニティ組織への活動の周知強化
- 放課後子ども教室の参加児童の満足度を高めるための企画内容の充実
- 中学生リーダー実践研修会について、地域の方の参加を得て、学校や生徒が地域とのつながりを意識し、日頃の連携した活動に生かせるプログラムの実施、リーダー研修会や二十歳のつどい実行委員会について、課題の捉え方や熟議の進め方などを学ぶ実践的なプログラムによる研修や活動の充実、若年層の社会参加活動の促進

(3) 家庭教育支援の充実

- 家庭教育研修会や公民館の家庭教育支援講座等の充実、市子ども未来部等の関係部署や関係機関と連携した支援の強化
- 中高生の不読率の改善に向けた学校図書ボランティアの育成・活用、図書館からのSNSによる中高生向け図書の情報提供等による読書活動の推進

小施策2 社会教育施設の整備・充実

(1) 社会教育施設の整備

- 社会教育施設の改修及び定期点検による維持保全、全ての社会教育施設へのオンラインを活用した事業等の対応に向けた通信環境整備の検討
- 「（仮称）盛岡市子ども科学館再整備基本構想」の策定と取組の推進
- （仮称）南部公民館の整備時期等の検討

(2) 社会教育施設の充実

- 公民館では、各事業アンケートによる利用者ニーズの把握と必要に応じた内容の見直し、テーマの視点や対象、実施方法等に工夫を加えるなど、地域に密着した役割を担うための機能強化
- 図書館では、利用者のニーズを把握した図書資料の充実、市ホームページやSNS等を活用した情報発信、利便性向上のための新たなDXサービス導入の研究
- 区界高原少年自然の家では、自然体験活動が子どもに与える好影響に関する市ホームページやSNS等を活用した普及啓発、非認知能力の育成に資する魅力ある事業の展開、他施設等との連携事業の実施
- 子ども科学館では、来館者のニーズが高い、実験や観察等の体験を重視した事業の充実、「年間パスポート」の新設、新たな利用者に加えてリピーターを確実に惹きつける取組の推進

施策3	歴史・文化の継承
小施策1	文化財の保存と活用
(1) 有形・無形文化財の保存と活用	
□ 文化財保護巡視員による調査等に基づく、所有者への補助金交付による財政的支援や保存管理に関する技術的な指導・助言等の実施 □ 教育活動の一環として民俗芸能の体験活動を行っている学校の取組事例について、児童生徒や教職員も含めた学校や市民への周知による地域文化を知るきっかけづくりの推進、市無形民俗文化財保存連絡協議会及び小中学校と連携した各地域の無形民俗文化財をはじめとする地域文化の鑑賞や体験活動の機会の創出	
(2) 埋蔵文化財の保存と活用	
□ 埋蔵文化財の活用については、来館者アンケートに記載された意見等を踏まえた来館者の興味関心のあるテーマに則した展示会や体験学習会等の企画の実施 □ 出土資料の収蔵スペースの確保については、活用可能な施設の有無に関する情報収集の継続、他都市の先進事例等を参考にした新たな収蔵施設の整備の可能性についての検討	
(3) 史跡・名勝・天然記念物の保存、整備、活用	
□ 国指定史跡盛岡城跡について、藩政時代の構造を把握するための計画的な発掘調査等の実施、国指定史跡志波城跡に係る再整備計画の策定、老朽化した復元建物等の修復又は撤去による来園者の安全確保と地域団体等のコミュニティの場としての活用 □ 盛岡藩主南部家墓所の保存と活用を進めるため、国史跡指定を目指した歴史的価値を明らかにする調査の実施 □ 地域に残る貴重な天然記念物の維持管理を行う管理者への助成、個々の樹木や植物の状況に応じた具体の助言や指導の実施	
小施策2	博物館等施設の整備・充実
博物館等施設の整備と管理運営の充実	
□ 博物館等施設の計画的な改修等の実施 □ 市内の小中学校への施設利用等に関するアンケート調査の実施、学校側のニーズに基づいた企画の検討、学校向けプログラムの充実 □ 石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館の複合施設と、隣接する道の駅もりおか渋民との連携した取組の実施	

(参考) 指標一覧*1			
分野	指標	R5現状値	R11目標値
施策1-小施策1-(1)-ア 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	算数・数学・英語の学習が好きな児童生徒の推移（全国水準100との比較）*2	算数(小) 96(R6) 数学(中) 97(R6) 英語(中) 100	算数(小) 100 数学(中) 100 英語(中) 100
	授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合*2	小 87.3%(R6) 中 88.8%(R6)	小 90.0% 中 90.0%
施策1-小施策1-(1)-イ グローバル社会における人材育成	授業中、発話の50%以上を英語で行っている教師の割合（中学校3年生）*3	72.7%	100%
	授業における、児童生徒が英語による言語活動を50%以上行っている割合（小学校6年生、中学校3年生）*3	小6 82.9% 中3 77.3%	小6 100% 中3 100%
施策1-小施策1-(2)-ア 道徳教育の推進	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合*4	小 64.0%(R6) 中 62.0%(R6)	小 68.0% 中 68.0%
	多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合*4	小 75.0%(R6) 中 74.0%(R6)	小 78.0% 中 78.0%
施策1-小施策1-(2)-イ いじめ問題、不登校への対応	認知したいじめが解消した割合*5	小 98.8% 中 98.2%	小 100% 中 100%
	学校内外の機関等で相談・指導を受けている不登校児童生徒の割合*6	小 72.3% 中 69.6%	小 80.0% 中 80.0%
施策1-小施策1-(3)-ア 学校体育・健康教育の充実	運動が好きな児童生徒の割合*7	小 92.5% 中 85.0%	小 95.0% 中 90.0%
	毎日一定の時間に就寝する児童生徒の割合*2	小 85.2%(R6) 中 83.4%(R6)	小 88.0% 中 88.0%
施策1-小施策1-(3)-イ 安全教育の推進	児童生徒の交通事故の発生件数	39件	30件
	児童生徒の交通事故以外の事故発生件数	87件	70件
施策1-小施策1-(3)-ウ 食育・学校給食の充実	朝食を毎日食べる児童生徒の割合*7	小 81.3% 中 80.0%	小 85.0% 中 85.0%
	各小中学校における地場産品等(岩手県産の食材及び同食材を使用した加工品並びに郷土食)を活用した食に関する指導の平均取組回数	4.1回/月	12回/月
施策1-小施策1-(4) 先人教育・キャリア教育の推進	「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合*2	小 82.0%(R6) 中 83.4%(R6)	小 88.0% 中 88.0%
	「将来の夢や目標を持っている」と回答した中学校生徒の割合*2	71.0%(R6)	80.0%
施策1-小施策1-(5) 共に学び、共に育つ特別支援教育の充実	特別支援教育チーム委員の巡回相談実施後の対象児童生徒の肯定的な変容の割合	74.4%	90.0%
	特別支援教育チーム委員の巡回相談実施後の対象児童生徒が在籍する学級全体の肯定的な変容の割合	67.5%	90.0%
施策1-小施策1-(6)-ア 教育振興運動とコミュニティ・スクールの推進	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合*4	小 89.0% 中 88.0%	小 90.0% 中 90.0%
	コミュニティ・スクールの導入割合	22.2%	100%
施策1-小施策1-(6)-イ 部活動の地域展開等の環境づくり	部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会等の機会を持っている学校の割合	95.5%	100%

分 野	指 標	R5現状値	R11目標値	分 野	指 標	R5現状値	R11目標値
施策1-小施策1-(7) 教育DXの基盤整備と 教員の指導力向上	保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している学校の割合*8	51.5%	100%	施策2-小施策2-(2) 社会教育施設の充実	公民館事業の受講者数	60,032人	80,000人
	児童生徒にICT活用について指導できる教員の割合*9	75.3%	85.0%		図書館の年間貸出冊数（市民一人当たり）	1.4冊/年	2.2冊/年
	諸調査結果等から明らかになった課題に着目した授業改善を行っている学校の割合*4	小 46.3% 中 28.0%	小 50.0% 中 35.0%		図書館の年間来館回数（市民一人当たり）	0.7回/年	1.5回/年
施策1-小施策1-(8) 学びを支える経済的 支援と学校の適正配 置	より多くの保護者が就学援助制度を利用できるよう周知する回数	8回/年	12回/年		区界高原少年自然の家の学校・社会教育関係団体利用満足度	98.4%	100%
	適正配置の対象となっている学校の協議会等の設置率	75.0%	100%		子ども科学館の来館者満足度	90.0%	95.0%
施策1-小施策2 幼保小の円滑な接続 と市立高校の魅力化	「幼稚園・保育園・こども園と小学校の接続カリキュラム」をもとに、カリキュラムの見直しを実施した小学校の割合	50.0%	100%	施策3-小施策1-(1) 有形・無形文化財の 保存と活用	国、県、市指定の文化財数	280件	283件
	「自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した生徒の割合（高校2年生）*10	65.3%(R6)	75.0%		盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会における活動団体数（4.1現在）	41団体	41団体
		市立高校入試における志願倍率	1.08倍(R6)	1.10倍	施策3-小施策1-(2) 埋蔵文化財の保存と 活用	遺跡の学び館の入館者数	7,234人
施策1-小施策3-(1) 校舎等の整備	「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化計画」等における小中学校校舎の長寿命化工事（安全対策改修を含む）着工率	46.2%(R6)	73.1%	施策3-小施策1-(3) 史跡・名勝・天然記 念物の保存、整備、 活用	遺跡の学び館の来館者アンケートによる展示会、体験学習等の参加者満足度	90.0%	95.0%
	「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化計画」等における小中学校屋内運動場の長寿命化工事（安全対策改修を含む）着工率	12.2%(R6)	57.1%		史跡盛岡城跡発掘調査の進捗率	83.5%	100%
		「盛岡市小中学校水泳プール対応方針」における対象校19校のうち、着手済の小中学校数	3校(R6)	16校		適切に維持管理が行われている天然記念物（植物）	20件
施策1-小施策3-(2) 教育環境の向上	小中学校の特別教室への空調設備設置率	19.5%(R6)	77.0%	施策3-小施策2 博物館等施設の整備 と管理運営の充実	博物館等施設を利用する市内小中学校の割合	58.7%	71.7%
	小中学校施設のトイレ洋式化等累計整備率	65.0%(R6)	100%		博物館等施設の入館者数	272,392人	324,766人
		市立高校施設のトイレ洋式化等累計整備率	17.2%(R6)	100%	*1 「R5現状値」について、最新の数値を把握している場合は、R6年度の実績値を記載。 *2 出典：全国学力・学習状況調査（文部科学省） *3 出典：英語教育実施状況調査（文部科学省） *4 出典：岩手県小・中学校学習定着度状況調査 *5 出典：岩手県教育委員会による調査 *6 出典：児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省） *7 出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁） *8 出典：「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果（文部科学省） *9 出典：学校における教育の情報化の実態等に関する調査（文部科学省） *10 出典：岩手県高等学校1年・2年意識調査学校別集計結果 *11 出典：岩手県子どもの読書状況調査。小学校及び中学校は本市のみの数値、高校は岩手県全体の数値。		
施策1-小施策3-(3) 学校施設の利活用	学校施設の利活用を行った小中学校数の累計	4校(R6)	7校				
	学校体育施設開放事業の利用者数	570,624人	720,000人				
施策2-小施策1-(1) 学習機会の充実	まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合	37.3%	50.0%				
施策2-小施策1-(2) 学校・家庭・地域の連携	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合（再掲）*4	小 89.0% 中 88.0%	小 90.0% 中 90.0%				
施策2-小施策1-(3) 家庭教育支援の充実	家庭教育研修会の内容が有意義だったと思う受講者の割合	93.0%	100%				
	1か月で1回も本を読まなかった児童生徒の割合*11	小 0.8% 中 8.3% 高 20.7%	小 0.1% 中 2.8% 高 12.6%				
施策2-小施策2-(1) 社会教育施設の整備	「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化計画」等における社会教育施設の長寿命化工事着工率	55.0%	65.0%				